

第2回 境川かわまちづくり懇談会議事録（概要）

- 1 開催日時 令和4年2月10日（木） 午後1時30分～午後3時50分
- 2 開催場所 オンライン開催
- 3 出席者

（学識者）

法政大学 陣内 秀信 特任教授

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

（沿川自治会）代表者9名

第8区自治会、堀江三丁目自治会、猫実三丁目自治会、美浜三丁目自治会
入船リバーサイド自治会、レジアスフオート新浦安自治会、潮音の街自治会
パークシティグランデ新浦安自治会、タイムレスタウン新浦安自治会

（関係団体）代表者10名

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村
うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク
一般社団法人浦安観光コンベンション協会、浦安商工会議所
公益社団法人浦安青年会議所、株式会社オリエンタルランド

（事務局）

道路整備課 須賀課長、西村課長補佐、田中工務係長

河本主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事、宇田川主任主事

商工観光課 金島主任主事

郷土博物館 島村副主幹

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、八町、阿部、坂本

株式会社建設技術研究所 岡田

4 議 題

第1部 説明

- (1) 「かわまちづくり」支援制度について
- (2) これまでの境川修景整備検討について
- (3) 懇談会の位置づけ及び今後のスケジュール（案）について
- (4) 第1回懇談会の振り返り
- (5)

<質疑応答>

第2部 関係団体からの発表・意見交換

- (6) 関係団体の活動について
- (7) 全体討議
- (8) その他

5 会議経過

第1部

- (1) 「かわまちづくり」支援制度について
「かわまちづくり」支援制度の概要についての説明及び他地区のかわまちづくりや社会実験の事例紹介を行った。
- (2) これまでの境川修景整備検討について
これまでの境川修景整備検討の経緯及び境川修景整備検討会報告書（令和2年3月）の概要について説明を行った。
- (3) 懇談会の位置づけ及び今後のスケジュール（案）について
懇談会の位置づけ及び今後の境川かわまちづくりのスケジュール（案）について説明を行った。
- (4) 第1回懇談会の振り返り
令和3年度の懇談会のスケジュール及び第1回懇談会の振り返り、主な意見について説明及び参加できなかった自治会の意見を紹介した。

<質疑応答>

第1部の説明について質疑応答を行った。内容については、(6)全体討議にまとめて記載する。

第2部

(5) 関係団体の活動について

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村、うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク、一般社団法人浦安観光コンベンション協会、浦安商工会議所、公益社団法人浦安青年会議所及び郷土博物館に団体の概要、これまでの活動や新たに検討している活動について発表していただいた。

各関係団体の発表内容を以下に記載する。

| |
|--|
| 境川であそぼう実行委員会 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 今回参加している団体のほとんどが当団体に参加している。・ 楽しく境川に親しんでもらうということが大きな目標で活動している。・ 境川のクリーンアップということで、護岸及び管理用通路などのゴミ拾いを行っている。・ 境川クリーンアップ後に、べか舟乗船や自然観察、ハゼ釣りを行っている。・ かわまちづくりを通して、いろいろな団体と意見交換ができる場を来年度は作っていききたい。 |
| 浦安水辺の会 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 「浦安の安心安全な水辺」を目標に水辺であそぶ活動を行っている。・ 水辺ガイドは、リバーウォークとして境川の西水門から東水門までを説明しながら歩くことを行っている。・ 「水辺に乾杯」というイベントを行っている。・ A～Cゾーンは使い勝手が良いので、カフェテラス in 境川の時にEボート体験乗船を実施した。・ 水辺ガイドやEボートに乗船させるための人材養成を行っている。・ 子どもの水辺体験活動の推進ということで親子初めてハゼ釣り教室を行っている。・ マハゼの調査を行い、東京湾を良くするための指針作りを行っている。 |
| 浦安カヌー協会 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 毎年11月にCゾーンの江川橋と神明橋間で千葉県カヌースラローム大会を開催している。・ Dゾーンの河口寄り毎週土日及び祝日に通常の練習を実施している。・ 三番瀬やディズニーランド一周など周辺海域のツーリングを実施している。・ 境川クリーンアップに毎回参加している。川の中のゴミの引き揚げ作業はカヌーが有効と自負している。・ 昨年度、「境川にこいのぼりを泳がせる会」より依頼があり、両岸に渡るロープ張り作業を行った。・ 通常練習のときに干潮時は水面まで2m近い護岸を、カヌーを片手に担いで梯子で降りる状況である。誰でもが安全に水面にアプローチできる施設が設置されたらよりカヌー等の活動が活発になる。・ 市長杯争奪のカヌーマラソンや高洲の船溜まりを利用したEボート大会などできれば良い。 |
| 浦安市郷土博物館 |
| <ul style="list-style-type: none">・ A, B, Cゾーンにおいてべか舟・伝馬船・投網船等の木造船で乗船体験を行っている。乗り心地を味わうだけでなく、川からまちを眺めていただき浦安の新しい魅力を発見してもらっている。・ 境川沿いに現存している旧大塚家、旧宇田川家などの文化財住宅以外にも他の文化財、史跡を探訪するまち歩きツアーを適宜行っている。 |

- ・ 市民や市の職員を募って、木造船の漕ぎ手のグループを結成し、月1回練習で育成している。博物館の行事や市の大きな行事で船を扱っていただけるまで活動が広がっている。
- ・ 今後は観光、まちづくりの部署とコラボレーションしながら新たな境川の魅力を模索していきたい。
- ・ 水門下流のDゾーンについてもエンジン付きの船を所有しているので活動を考えたい。
- ・ 問題点は、船を保持していくうえで木造船を作ってくれる船大工がいなくなってしまうことである。

ふるさと浦安かっぱ村

- ・ 2007年から「境川を河童のすめるきれいな川に」をスローガンに、水域を市の環境レンジャー課の協力で船を出してもらい船上及び両岸の清掃活動を行った。
- ・ 翌日は船数艘で船上パレードを実施し、川を汚さないよう協力を呼び掛けるキャンペーンを清掃と合わせて10年間行っている。
- ・ 市民まつりでブースを設け、子供たちに「河童の水かけ」や輪投げを楽しんでもらいながら「水の大切さ」「川の浄化」を親子にアピールする活動を8年間行っている。
- ・ 境川クリーンアップに積極的に参加している。
- ・ 新橋から江川橋間の改修された護岸通路が、みんなが歩く散歩道として活用できるように先頭に立って魅力ある環境づくりの呼びかけを行っている。
- ・ 川沿いにある公有地、遊休地を活用し休憩場所あるいは緑空間、小さなイベントの会場として利用することを提案する。
- ・ イベントとして七夕まつり、川にLED電球を流して天の川を再現したり、以前行った灯籠流しの復活、お囃子船などのイベントを企画していきたい。

うらやす景観まちづくりフォーラム

- ・ 市民の視点でより住みやすく誇りの持てる浦安の美しい景観まちづくりを目指すことを目標としている。
- ・ 実際の活動は、市民による景観資源の発見、インターネットの活用による景観資源マップの作成、景観資源の評価・改善提案、関係団体、行政、地域交流による情報収集、意見交換、先進事例の見学会、勉強会の実施（バスツアーなど）、景観まちづくり表彰、ホームページ制作である。
- ・ 景観資源の発見ということで、境川の上流部を水辺の会に案内してもらった。その後、先進事例ということで江戸川区より親水空間の話しを聞き、ワークショップを行った。
- ・ 2016年から2020年の5年間、浦安景観まちづくり賞の表彰を行った。境川沿いで富岡中学校区健全育成連絡会による花壇の管理運営、境川にこいのぼりを泳がせる会、舞浜俱樂部新浦安フォーラム等を表彰した。
- ・ 「歩いて楽しいまちづくり」というテーマで3月にキックオフミーティングを行い、ワークショップに変えてスマートフォンのアプリケーションを活用して景観資源探しをパソコンに集約し、意見交換及び提言していく活動を考えている。

みどりのネットワーク

- ・ 浦安を水と緑豊かでうるおいのあるふるさとにするための市民のネットワークである。
- ・ 活動内容は花と緑の育成、ビオトープづくり、お米づくりの体験学習、緑のカーテン、森づくり、水辺ルネッサンスの企画、実施である。
- ・ 境川周辺での現在の活動は、海楽公園四季の花クラブが東水門の花壇でバラと草花を手入れ、明海の丘公園や近隣小学校でのお米づくり体験を行っている。
- ・ 高洲海浜公園から境川の「絆の森づくり」への協力、2008年から2013年までアオギスのねぶたを川に浮かべ（アオギスプロジェクト）、灯籠流しや乗船体験も行った。

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川沿いの植栽や花壇などに散水栓の設置、トイレ、休憩場の設置、これによって水と緑の道が形成できる。 ・ 水門間の水の交換による流れ、酸素供給がなされて水質が改善されると市民が水辺に親しむようになり、生物の復活にも結びついてくると思う。 ・ 水辺へのアプローチが改善されると公園やオープンスペース、緑道との一体的利用が可能になる。 ・ 境川河口部の高洲側の窪地を親水公園として整備することを提案する。 ・ その他の様々な実験として自然観察、バードウォッチング、水上交通乗船体験、イベントやマルシェなどができれば素晴らしい。 |
| <p>一般社団法人浦安観光コンベンション協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浦安の観光振興のために様々な活動を通じて浦安の魅力発信を行っている。 ・ 境川に関する取り組みとしてカフェテラス in 境川、春まつりなどにおいて名産品の販売、釣り体験等を通して観光 PR を行ってきた。 ・ 全国からの修学旅行生の誘致を図るため、浦安トラベルという冊子を作成し、市内での学習体験の提供を行っている。その一つに市民団体の協力のもと境川を活用したボート乗船体験プログラムの提供を行っている。 ・ アイデアとして観光の視点から見ると例えば川岸で乗船できる場所や水に触れられる拠点施設があれば、より観光の PR ができ、人を呼び込むことに繋がるのではないかと思う。 |
| <p>浦安商工会議所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 境川沿いでの活動は、以前は浦安市と浦安観光コンベンション協会と浦安商工会議所で組織していた観光推進協議会で桜まつりやカフェテラス in 境川を主催していた。 ・ 現在は浦安市が市役所周辺で複数のイベントを集約した浦安春まつりにて、カフェテラス in 境川で青年部が浦安の B 級グルメとして企画立案した浦安べか焼きそばの出店や女性会が野点を開催し協力を行っている。 |
| <p>公益社団法人浦安青年会議所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会貢献とそれを通じた若者のネットワークと能力開発の 3 つを目的として日頃から活動している。 ・ 特色としては、40 歳を迎えると引退しなければならず、否応なく新陳代謝が進む組織である。 ・ 1 年間で役職が全て変わるため、毎年やることも変わるという特色を持っている。 ・ 川とのかかわりは、まちづくりということで愛郷心を育むテーマで、イベントの例を 2 つ資料に載せている。 ・ 親水ハロウィーン、親子ハゼ釣り事業では、水辺の会に協力いただいている。 ・ 昨今は SDG s（持続可能な開発目標）を意識して活動している。特に、川ではいろいろなテーマに想いを馳せるのにちょうどいいということで、活動の幅を川に広げていけたらよいと思う。 |

(6) 全体討議

関係団体の活動についての意見交換や境川の安全で利活用しやすい環境の必要性について議論を行った。

①質疑応答

| |
|---|
| Q. 河川管理者からの受けることのできるハード支援やソフト支援はどのようなものか？ |
| A. ソフト支援としては、技術的助言や許認可等の規制緩和が受けられる。 A. ハード支援としては、栈橋や川へのアクセス用のスロープ、堤防のフェンスの撤去の事例がある。協議会を設置し、合意形成がなされれば、河川敷でバーベキュー大会やイベントに合わせて物販店を設置するなどのソフト事業も行うことが可能になる。 |
| Q. 浦安市が主体でそこに民間事業者が入るといって建て付けになるのか？ |
| A. 推進主体には3つの形態があるが、市としては、学識者、市民、関係団体、事業者、河川管理者及び市からなる協議会をかわまちづくり計画の推進主体として進めていきたいと考えている。 |
| Q. もっと広く市民の意見を聞いたほうが良いと思う。若い人や女性や子供の意見を聞いていかないと、整備されても活動が広がらないのでは。2年目でそのようなことができないか。 |
| A. 資料3のスケジュールは、あくまでも現時点の市の案である。 A. 多様な世代からの意見聴取方法なども皆さんからご意見をいただきたい。 |
| Q. 対象河川が境川のみ限定されているが、旧江戸川～見明川～周辺海域～三番瀬とのつながりも視野に入れて行く予定はあるか？ |
| A. 境川及び沿川後背地ということで連続するエリアの連携は必要だと考えている。かわまちづくりは、あくまでも境川を中心に考えているが、視野に入れていないことは無い。 |
| Q. 浦安市カヌー協会は艇庫からカヌーをどのように川に下ろしているのか？ |
| A. 現状で安全に乗り降りできる施設はない。 A. 潮が満ちていると下りやすいので、体力に自信がないメンバーは満潮時に練習している。 A. 干潮時で2m下に降りるときは、必ず誰かと二人一組以上で練習するなどその安全面はかなり気を付けている。風速・風向・潮位等の気象情報を総合的に見て活動している。 |
| Q. 地元の小中学校、高校大学の若い人達が、自然なかたちで関係団体の活動に参加できるよう取り組みはされているのか？ |
| A. 浦安市の市民活動センターが中学・高校生向けの夏休みボランティア体験を行っている。水辺の会では、ハゼの調査、クリーンアップで中学校、高校生に参加してもらっている。 A. 海側の森づくりでは、学校で子供たちが実を蒔いて、それを育てて、植樹して緑を増やしていくという活動もしている。 A. 小学校、幼稚園、こども園がビオトープと田んぼを作り、1年時間を通じて田植えから収穫まで行い、しめ飾りまで作るというプログラムも学校と協力しながらやっている。 |
| Q. カヌーやボートは中学・高校のクラブ、サークル活動でやることはあるのか？ |
| A. 教育委員会が中学生の生徒会長を育成する講座があり、Eボートを使い何年か協力した。それ以外では、学校では取り組めてはいない。 |

②主な意見

| |
|---|
| 整備、安全安心に関する意見 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 河口部の水門・排水機場については、市民にあまり知られていない。費用対効果など情報をもっと出したほうがよい。・ 駐車場、カヌー置き場、スロープ、浮棧橋など地上の設備も含めて検討してほしい。・ Dゾーンには降りることができるような階段があったと思うが、その下の親水施設が沈んで使えない状況になっていたと思う。早急に安全に使えるように、行政が整備をするべき。・ 川の横の緑道や公園を川と結びつける場所（トイレや休憩所）をスポット的に整備すれば、まち側の人たちと川側の人たちで一緒にものごとができる。その観点で、高洲の窪地を親水公園として作れば皆さんが行っている活動がすべて集約できる。・ カヌー利用時に安全に境川に降りるための施設を作してほしい。・ 元町は、堤防はしっかりできているが、川に子供が落ちた場合に助けることができないような護岸になっている。川底まで着くような階段等があれば大人が入って助けることが出来る。・ ペットボトルなどを投げ入れ子供たちにつかまらせ引っ張り上げるというようなことを時々どこかで練習ができればよい。・ 江戸川区や江東区では水路がたくさんあるが所要所にロープが付いた浮き輪が手すり等に設置されている。 |
| 水質に関する意見 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 河口部の水門・排水機場の整備で東水門から下流の水質は悪くならないのか心配である。そういう視点を含めて考えてほしい。 |
| 計画に関する意見 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 浦安市は境川だけでなく見明川や周辺海域等の広い水面と接触している。部分毎の整備が全体計画でつながるのかが心配である。・ 現在は許認可に煩雑で労力がかかる。市民に広く利用してもらうのであれば、この問題も含めて大きなスケールで市から計画を示してほしい。 |
| 活動、提案等の意見 |
| <ul style="list-style-type: none">・ その場所に行くと美しい、楽しい、憩えるなど、特にイベントが無くても自然に人が集まって遊んでいる、そのようなまちづくりを目指したい。・ Eボート大会を行いたい。・ 一般対象でカヌー試乗会を営業期間以外の無料で利用できる時期に東野プールで行っていたが、4、5年前から有料になり、今は残念ながら料金を払ってまでできない状況である。境川で行うにも、直立護岸で安全の確保の面からも不可能な状況である。・ 江川橋から神明橋間がカヌーの練習に使いやすいため、この場所を常設の練習場として開放してほしい。・ 小学校の授業の体験等で、境川を利用した水辺での活動を提案しているが、許可なしに降りてはいけないという状況で、何かを企画しても学校からの了承は得られない。 |
| 過去の風景 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 昔の浦安は汽水域で半農半漁と言われるだけあって、ほとんど田んぼであった。そういう原風景を浦安の中に残してあげたい。 |

(7) その他

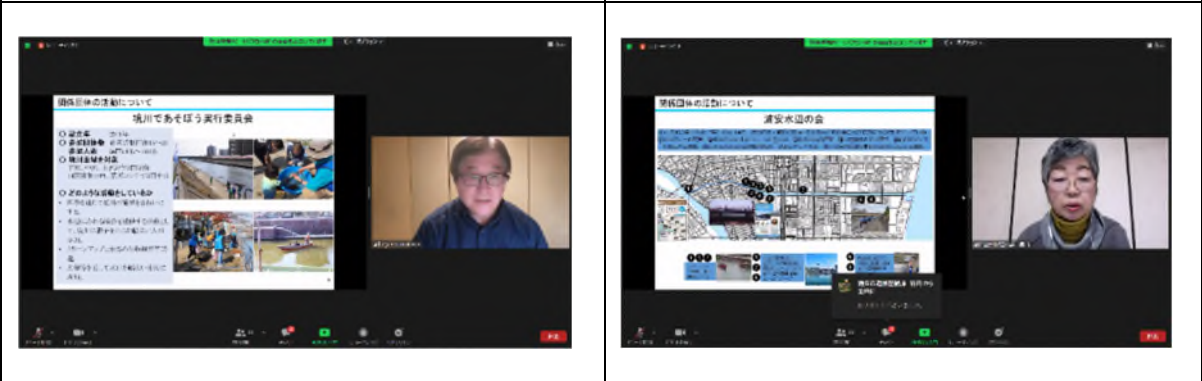
- ・ 今回の開催概要や議事録は、後日、「境川かわまちづくり」の市公式ホームページにて掲載予定である。
- ・ 第3回懇談会は、3月29日（火）13：30～15：30で、消防本部3階の多目的ホールを予定しており、河川管理者の千葉県葛南土木事務所も加わる予定である。
- ・ 第3回懇談会の開催に当たっては、会場開催を検討しているが、感染症対策等の社会情勢を鑑みて、今回と同様にWEB開催等も検討している。
- ・ 第3回懇談会の案内については、後日、改めてメール等でお知らせする。

開催状況写真



参加者 集合写真①

参加者 集合写真②



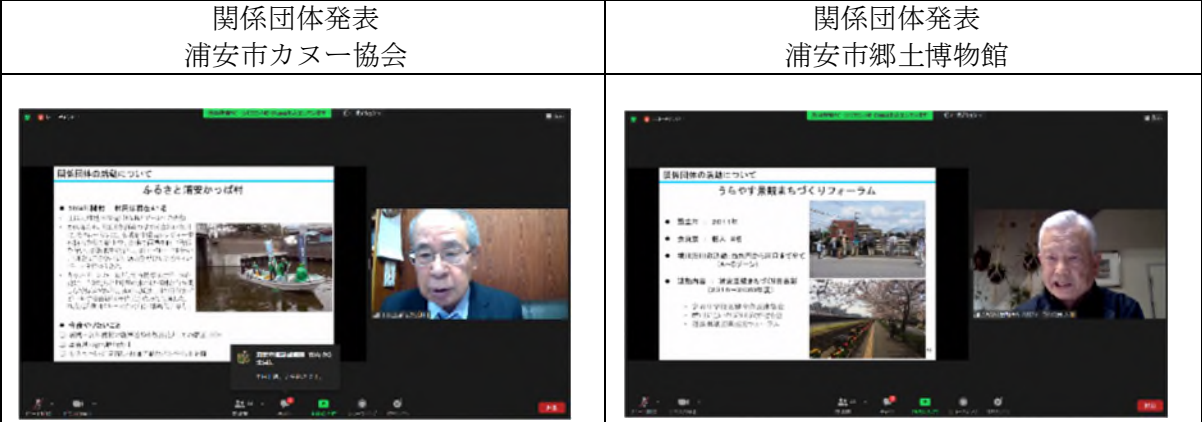
関係団体発表
境川であそぼう実行委員会

関係団体発表
浦安水辺の会



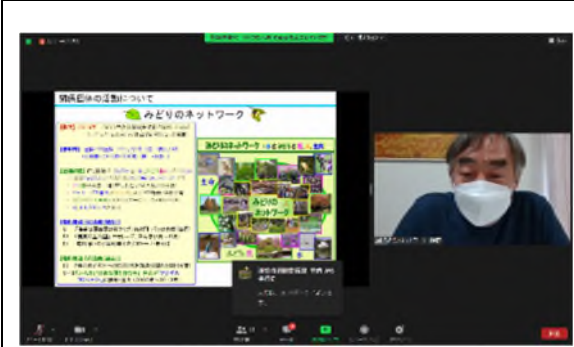
関係団体発表
浦安市カヌー協会

関係団体発表
浦安市郷土博物館



関係団体発表
ふるさと浦安かっぱ村

関係団体発表
うらやす景観まちづくりフォーラム



関係団体発表
みどりのネットワーク



関係団体発表
公益社団法人浦安青年会議所



関係団体発表
一般社団法人浦安観光コンベンション



関係団体発表
浦安商工会議所